

平成21年度

武蔵野市予算の概要

市民とともに魅力ある都市を育み次世代へつなぐ予算

平成21年2月

武蔵野市

目 次

1	編成方針	1
2	予算のポイント	1
3	予算規模	2
	(1) 一般会計予算規模	2
	(2) 会計別予算規模	3
	(3) 水道事業会計予算規模	5
4	予算の状況（一般会計）	6
	(1) 歳入の概要	7
	(2) 歳出の概要	10
	(3) 基金と市債	14
5	複数年度にわたる建設事業	16
6	特徴ある事業	20
	1 市民の健康増進及び高齢者・障がい者を守る福祉の充実	22
	2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実	26
	3 持続可能な環境共生都市づくり	31
	4 活力ある都市を目指して	34
	5 安全・安心なまちづくり	37
	6 市民文化の創造へ向けて	42
	7 新たなまちづくりの時代へ	44
	8 都市のリニューアルの推進	48
	9 市民との協働時代へ向けての取組み	50
	10 健全な財政運営と市役所改革の推進	52

※計数については変わることがあります。

1 編成方針

平成21年度予算は、「市民とともに魅力ある都市を育み次世代へつなぐ予算」と位置付け、計画2年目となる第四期長期計画・調整計画の事業を着実に実行するため、限られた財源を計画的、効率的に配分することを基本に編成した。

また、効率的な行政経営を目指し健全な財政運営を維持するため、事務事業の見直しを実施したほか、経常経費では前年度予算額の1%を減額した額を限度とする枠配分方式による予算編成を全庁で試行するなど、内部努力による経費の節減を行った。

2 予算のポイント

◎ 市民の健康増進及び高齢者・障がい者を守る福祉の充実

介護保険利用者負担額助成事業／「みどりのこども館」の開設

◎ 子育てしやすい環境及び教育環境の充実

新規認可保育所の開設／中学校給食の実施

◎ 持続可能な環境共生都市づくり

市域CO₂排出削減推進事業／緑と水のネットワークづくり

◎ 活力ある都市を目指して

認定農業者経営改善支援補助事業／緊急雇用対策事業

◎ 安全・安心なまちづくり

小中学校耐震補強工事／飲料水兼用耐震性貯水槽の整備

◎ 市民文化の創造へ向けて

戦争体験の記録・収集事業／武蔵野プレイス建設事業

◎ 新たなまちづくりの時代へ

景観整備優先路線の事業化計画の策定／吉祥寺方式物流対策委員会運営支援

◎ 都市のリニューアルの推進

市道第199号線自転車道整備／三鷹駅北口大型マンション地下自転車駐車場整備

◎ 市民との協働時代へ向けての取組み

市民協働サロンの活性化・協働推進／第二次男女共同参画計画の推進

◎ 健全な財政運営と市役所改革の推進

指定管理者制度の運用の改善／行政評価制度の再構築

3 予算規模

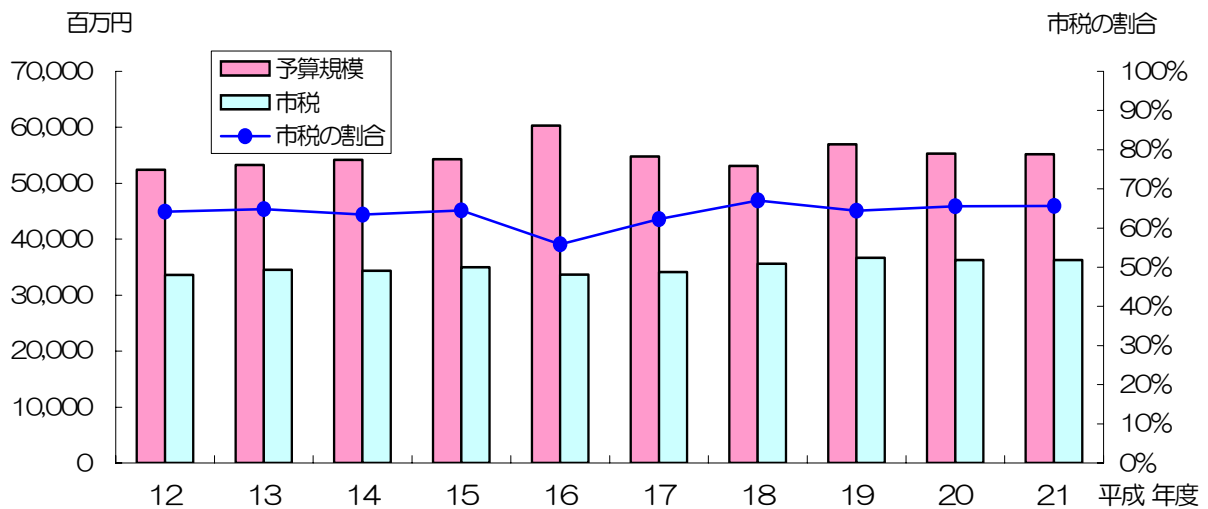
一般会計の予算規模は、小中学校施設の耐震を含む改修工事や武蔵野プレイス建設事業費などの増はあるものの、国民健康保険会計事業繰出金、自転車対策事業費の減などにより、前年度比△0.1%、8,000万円の減、総額552億円となった。

(1) 一般会計予算規模

(単位：千円)

	平成21年度	平成20年度	比較	増減率 (%)	
				21年度	20年度
一般会計	55,200,000	55,280,000	△ 80,000	△ 0.1	△ 2.9

一般会計予算規模と市税の推移



年 度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
予算規模	52,400	53,300	54,200	54,300	60,300	54,800	53,100	56,950	55,280	55,200
伸び率	0.7	1.7	1.7	0.2	11.0	△ 9.1	△ 3.1	7.3	△ 2.9	△ 0.1
市 税	33,618	34,560	34,364	35,001	33,700	34,129	35,608	36,670	36,268	36,257
伸び率	△ 4.0	2.8	△ 0.6	1.9	△ 3.7	1.3	4.3	3.0	△ 1.1	0.0
市税の割合	64.2%	64.8%	63.4%	64.5%	55.9%	62.3%	67.1%	64.4%	65.6%	65.7%

※ 平成16年度の予算規模は減税補てん債借換債を含んだ金額

〔主な増減内容〕

- 増 ○武蔵野プレイス建設事業
 ○桜野小学校増築工事
 ○小中学校施設改修工事

- 減 ○国民健康保険事業会計繰出金
 ○自転車対策事業費
 ○公園用地購入費

(2) 会計別予算規模

一般会計に特別会計を合わせた武蔵野市全体の予算規模は、総計で805億9,507万円、一般会計から特別会計への繰出金及び特別会計から一般会計への繰出金を除いた純計では764億886万円となった。

(単位：千円)

区分	平成21年度	平成20年度	比較	増減率 (%)	
				21年度	20年度
一般会計	55,200,000	55,280,000	△ 80,000	△ 0.1	△ 2.9
下水道事業会計	2,596,798	2,875,358	△ 278,560	△ 9.7	△ 3.2
国民健康保険事業会計	11,445,551	11,374,524	71,027	0.6	△ 2.7
老人保健(医療)会計	29,254	1,392,124	△ 1,362,870	△ 97.9	△ 85.3
後期高齢者医療会計	2,640,377	2,586,510	53,867	2.1	皆増
介護保険事業会計	8,683,090	8,220,940	462,150	5.6	5.4
総計	80,595,070	81,729,456	△ 1,134,386	△ 1.4	△ 8.1
純計	76,408,860	76,773,056	△ 364,196	△ 0.5	△ 9.8

【参考】

(単位：億円)

区分	平成21年度	平成20年度	比較	増減率 (%)	
				21年度	20年度
国の一般会計	885,480	830,613	54,867	6.6	0.2
地方財政計画	825,557	834,014	△ 8,457	△ 1.0	0.3
東京都の一般会計	65,980	68,560	△ 2,580	△ 3.8	3.8

※ 地方財政計画：毎年度の地方公共団体の歳入及び歳出総額を見込む計画

〔特別会計の主な増減理由〕

下水道事業会計

管きょ改修工事の減、雨水貯留浸透施設設置箇所数の減などにより、歳出規模は前年比で減少となった。

国民健康保険事業会計

歳入では、退職被保険者数の減少により療養給付費等交付金が減少したが、一人平均前期高齢者給付費見込額の上昇等により前期高齢者交付金が増加した。歳出では、医療制度改革に伴い老人保健拠出金が大幅に減少したが、加入者一人当たり支援金負担見込額の上昇等により後期高齢者支援金が増加した。歳入歳出予算総額としては、ほぼ前年度並みとなった。

老人保健（医療）会計

後期高齢者医療制度への移行により、歳入では、支払基金交付金、国庫支出金及び都支出金の予算計上もなくなり、歳出では、過年度支払い分のみの予算計上となるため、予算額全体で大幅減となった。

後期高齢者医療会計

被保険者数の増加に伴い、東京都後期高齢者医療広域連合へ拠出する療養給付費負担金の増や、健康診査にかかる費用が増となった。また、制度開始二年目となるため、保険料還付金及び還付加算金が増となった。

介護保険事業会計

歳出では、要介護認定者の増加や介護報酬の改定、特別養護老人ホームの整備や特定施設（有料老人ホーム）の入居者の増加などにより介護給付費が増大した。歳入では、介護給付費の増大に伴い国庫支出金、支払基金交付金、都支出金が増大した。また、介護報酬改定による介護保険料の上昇を抑制するため、平成20年度に設置する介護従事者処遇改善臨時特例基金から繰入れを行うこととした。

(3) 水道事業会計予算規模

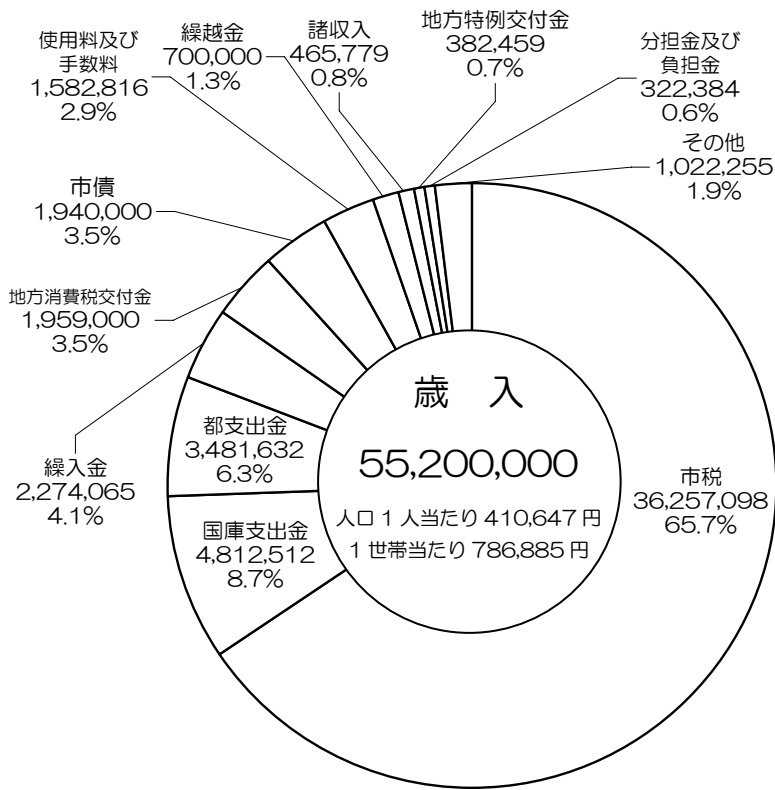
(単位：千円)

区 分	平成21年度	平成20年度	比較	増減率 (%)	
				21年度	20年度
収益の収入	3,556,615	3,569,583	△ 12,968	△ 0.4	△ 0.1
収益の支出	3,546,114	3,527,440	18,674	0.5	0.2
資本の収入	330,335	255,124	75,211	29.5	19.3
資本の支出	1,594,212	1,827,587	△ 233,375	△ 12.8	23.6

4 予算の状況（一般会計）

平成21年度 歳入予算構成比

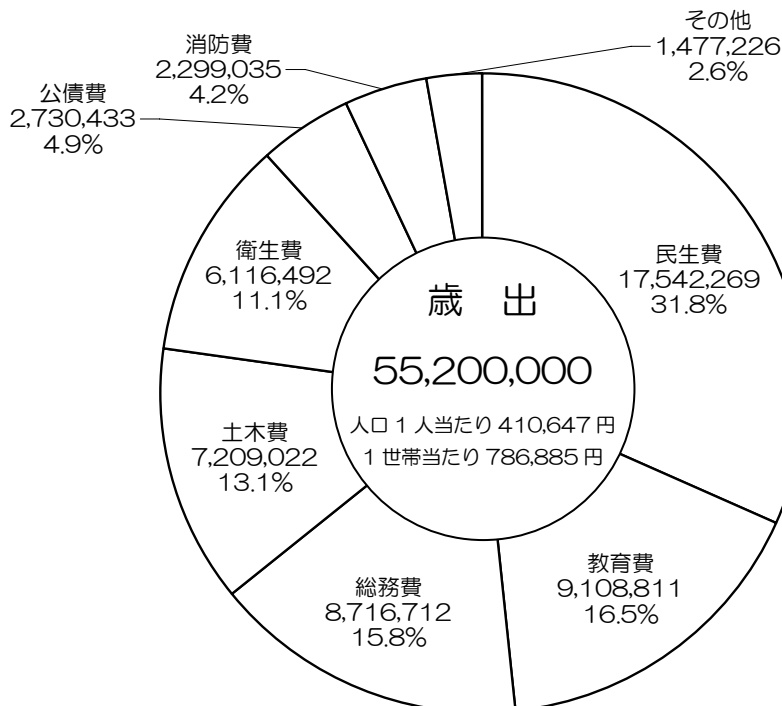
[単位：千円]



【その他の内訳】

利子割交付金	264,000	0.5%
財産収入	233,055	0.4%
地方譲与税	213,000	0.4%
自動車取得税交付金	168,000	0.3%
配当割交付金	92,000	0.2%
株式等譲渡所得割交付金	35,000	0.1%
交通安全対策特別交付金	17,000	0.0%
地方交付税	100	0.0%
寄附金	100	0.0%

平成21年度 歳出予算構成比



【その他の内訳】

商工費	469,533	0.8%
議会費	452,478	0.8%
諸支出金	358,111	0.6%
予備費	100,000	0.2%
農業費	53,496	0.1%
労働費	43,608	0.1%

※ 平成21年1月1日現在の人口（134,422人）・世帯数（70,150世帯）による

(1) 歳入の概要

○市税については、転入による個人市民税の増、評価替えに伴う固定資産税（土地）等の増が見込まれる一方、景気の悪化により法人市民税が大幅に減少するため、前年度予算額に比べ約1,100万円（0%）の減となる。

○利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金は、前年度予算額に比べ、あわせて4億4,300万円、53.1%の減となる。

○各種基金等からの繰入金が前年度予算額に比べ約8億1,900万円、26.5%の減となる一方、市債は約5億2,000万円、36.6%の増となる。

(単位：千円)

区 分 (款)	平成21年度 予算額 (A)	平成20年度 予算額 (B)	比較 (C)=(A)-(B)	増減率 (%) (C) / (B)	構成比率 (%)	
					21年度	20年度
1 市 税	36,257,098	36,268,001	△ 10,903	0.0	65.7	65.6
2 地 方 譲 与 税	213,000	230,000	△ 17,000	△ 7.4	0.4	0.4
3 利 子 割 交 付 金	264,000	452,000	△ 188,000	△ 41.6	0.5	0.8
4 配 当 割 交 付 金	92,000	239,000	△ 147,000	△ 61.5	0.2	0.4
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	35,000	143,000	△ 108,000	△ 75.5	0.1	0.3
6 地 方 消 費 税 交 付 金	1,959,000	1,718,000	241,000	14.0	3.5	3.1
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	168,000	248,000	△ 80,000	△ 32.3	0.3	0.4
8 地 方 特 例 交 付 金	382,459	364,761	17,698	4.9	0.7	0.7
9 地 方 交 付 税	100	10,500	△ 10,400	△ 99.0	0.0	0.0
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	17,000	18,000	△ 1,000	△ 5.6	0.0	0.0
11 分 担 金 及 び 負 担 金	322,384	309,165	13,219	4.3	0.6	0.6
12 使 用 料 及 び 手 数 料	1,582,816	1,599,568	△ 16,752	△ 1.0	2.9	2.9
13 国 庫 支 出 金	4,812,512	4,565,115	247,397	5.4	8.7	8.2
14 都 支 出 金	3,481,632	3,262,386	219,246	6.7	6.3	5.9
15 財 産 収 入	233,055	210,763	22,292	10.6	0.4	0.4
16 寄 附 金	100	100	0	0.0	0.0	0.0
17 繰 入 金	2,274,065	3,092,690	△ 818,625	△ 26.5	4.1	5.6
18 繰 越 金	700,000	700,000	0	0.0	1.3	1.3
19 諸 収 入	465,779	428,451	37,328	8.7	0.8	0.8
20 市 債	1,940,000	1,420,500	519,500	36.6	3.5	2.6
計	55,200,000	55,280,000	△ 80,000	△ 0.1	100.0	100.0

○市税の状況

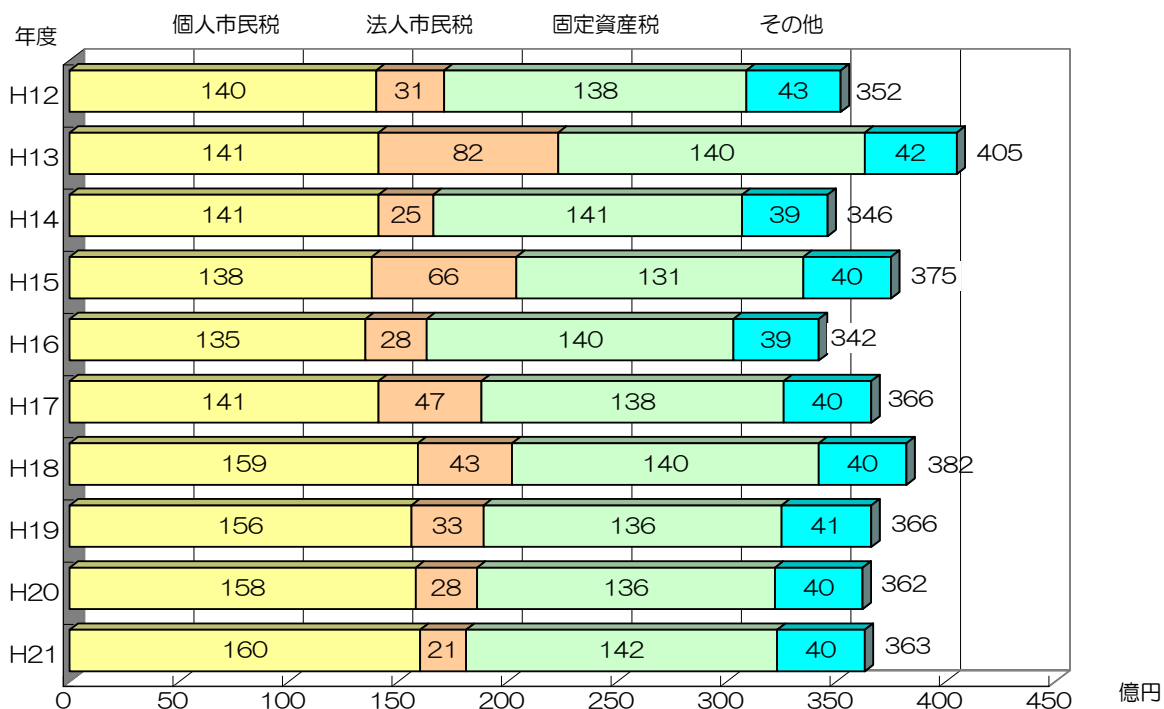
平成21年度の市税収入は約362億5,700万円、前年度当初予算額に比べ約1,100万円（0%）の減となった。

個人市民税は、納税義務者の増加や大型マンション完成に伴う転入による増収を見込む。法人市民税は、景気の悪化により大幅な減収の見込みである。固定資産税は、評価替えにより、土地については増収を、家屋については減収を見込む。償却資産については新たな設備投資はなく、大規模償却資産の東京都課税分の発生による減収を見込んだ。

(単位：千円)

区分(税目)	平成21年度 予算額	平成20年度 予算額	比較	増減率 (%)	
				21年度	20年度
市民税 個人	15,951,472	15,793,000	158,472	1.0	1.2
市民税 法人	2,090,070	2,907,900	△ 817,830	△ 28.1	△ 20.6
固定資産税	14,198,425	13,632,800	565,625	4.1	1.5
軽自動車税	35,640	34,400	1,240	3.6	△ 0.3
市たばこ税	990,000	960,000	30,000	3.1	△ 9.0
入湯税	1	1	0	0.0	0.0
事業所税	634,000	652,000	△ 18,000	△ 2.8	6.2
都市計画税	2,357,490	2,287,900	69,590	3.0	0.8
計	36,257,098	36,268,001	△ 10,903	0.0	△ 1.1

市税額の推移



※ 平成19年度までは決算額、平成20年度は決算見込額、平成21年度は当初予算額である。

〔その他の主な費目の増減内容〕

利子割交付金

預貯金の利子等に課税される都民税利子割から、市町村の収入割合に応じて交付される。

利子所得は一律20%課税され、このうち15%が国税、5%が地方税となる。地方税として都道府県に収納される利子割額の3/5を、市町村にそれぞれの都道府県民税の収入割合に応じて交付される。過去の郵便貯金の利率及び昨今の金利の低下等により、1億8,800万円、41.6%の減となる。

地方特例交付金

臨時的な財源措置として国から交付されるもので、特別交付金、児童手当特例交付金及び減収補てん特例交付金がある。

減収補てん特例交付金の廃止に伴う経過措置である特別交付金、児童手当制度の拡充に伴う財源措置である児童手当特例交付金、住宅借入金等税額控除による個人市民税の減収を補てんする減収補てん特例交付金に加え、21年度からは自動車関連諸税の減税に伴う自動車取得税交付金の減収補てん分が減収補てん特例交付金に追加される。全体としては約1,800万円、4.9%の増となる。

国庫支出金

国から市への支出金で、法令により負担義務を負う負担金、奨励的、財政援助的に交付される補助金、本来国が行う事務を便宜上行った場合の委託金がある。

障害者自立支援給付費負担金、地域介護・福祉空間整備等交付金、安全・安心な学校づくり交付金などの増により、約2億4,700万円、5.4%の増となる。

都支出金

都から市への支出金で、国庫支出金同様、負担金、補助金、委託金がある。

公立学校施設耐震化支援事業補助金、衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査委託金、都議会議員選挙委託金などの増により、約2億1,900万円、6.7%の増となる。

繰入金

市の貯金である基金から取り崩して事業に充てる基金繰入金と、特別会計から入る特別会計繰入金がある。

特定健康診査等に対する特別会計からの繰入金の減のほか、基金からの繰入金についても、公共施設整備基金繰入金、学校施設整備基金繰入金、公園緑化基金繰入金などが減となる。一方で、財政調整基金繰入金などは増となるが、全体として約8億1,900万円、26.5%の減となる。

市債

市の借金にあたるもの。投資的経費等に必要なる財源を調達するために借入れを行う。

武蔵野プレイス建設事業債等の増により、約5億2,000万円、36.6%の増となる。

(2) 歳出の概要

- 武蔵野市行財政集中改革プランや職員定数適正化計画等に基づき、事務事業の廃止・縮減を行うなど経費節減を図った。
- 経常経費は前年度予算額の1%を減額した額を限度とした。国民健康保険事業会計への繰出金の減などにより、総額で8,000万円の減となった。

①目的別分類

目的別分類は、歳出をその行政目的に応じて区分するもので、予算の「款」を基準としている。

(単位：千円)

区分(款)	平成21年度 予算額 (A)	平成20年度 予算額 (B)	比較 (C)=(A)-(B)	増減率(%) (C)/(B)	構成比率 (%)	
					21年度	20年度
1 議会費	452,478	448,063	4,415	1.0	0.8	0.8
2 総務費	8,716,712	8,836,843	△ 120,131	△ 1.4	15.8	16.0
3 民生費	17,542,269	18,012,606	△ 470,337	△ 2.6	31.8	32.6
4 衛生費	6,116,492	5,978,354	138,138	2.3	11.1	10.8
5 労働費	43,608	45,792	△ 2,184	△ 4.8	0.1	0.1
6 農業費	53,496	57,829	△ 4,333	△ 7.5	0.1	0.1
7 商工費	469,533	550,784	△ 81,251	△ 14.8	0.8	1.0
8 土木費	7,209,022	8,183,060	△ 974,038	△ 11.9	13.1	14.8
9 消防費	2,299,035	2,216,075	82,960	3.7	4.2	4.0
10 教育費	9,108,811	7,609,175	1,499,636	19.7	16.5	13.8
11 公債費	2,730,433	2,891,924	△ 161,491	△ 5.6	4.9	5.2
12 諸支出金	358,111	349,495	8,616	2.5	0.6	0.6
13 予備費	100,000	100,000	0	0.0	0.2	0.2
計	55,200,000	55,280,000	△ 80,000	△ 0.1	100.0	100.0

[主な費目の増減内容]

総務費

庁舎管理、戸籍、統計、徴税、選挙、職員に要する経費など市の全般的な管理に必要な経費

緊急雇用創出事業費5,000万円、中高年齢者・障害者雇用創出事業費2,700万円、衆議院議員選挙、東京都議会議員選挙及び市長選挙費1億7,400万円の増はあるものの、市税及び税外収入還付金1億4,900万円、庁舎改修工事1億5,300万円の減などにより、1億2,000万円、1.4%の減となった。

民 生 費

社会福祉、児童福祉、生活保護など、一定水準の生活を保障するために必要な経費

障害者福祉費扶助費 2 億1,400万円やみどりのこども館管理運営8,700万円の増があるものの、国民健康保険事業会計への繰出金 5 億3,300万円の減などにより、4 億7,000万円、2.6%の減となった。

衛 生 費

保健衛生や環境対策、ごみ処理、し尿処理などに必要な経費

保健センター改修工事費4,300万円などの減があるものの、クリーンセンター焼却・粗大施設改修工事費7,300万円や妊婦健康診査5,300万円の増などにより、1億3,800万円、2.3%の増となった。

土 木 費

道路、公園、市営住宅の整備などに必要な経費

市道16号線自治体管路設置 1 億8,000万円や環境舗装道路事業 8,700万円などの増があるものの、公園建設用地購入費 2 億4,500万円や区画道路整備用地購入費 1 億2,800万円の減などにより、9 億7,400万円、11.9%の減となった。

教 育 費

学校教育や社会教育の振興などに必要な経費

体育施設改修工事費8,600万円や小中学校設備設置工事費 6,700万円の減があるものの、武蔵野プレイス建設事業費 7 億4,700万円や耐震改修などの小中学校施設改修工事費の 4 億1,600万円の増などにより、15億円、19.7%の増となった。

公 債 費

地方公共団体が借入れた地方債の元金及び利子の償還に要する経費

据置期間が経過し元金の返済が始まったことによる増はあるものの、過年度分の利率の高い借入分（総合体育館建設事業、陸上競技場改築、第一小学校用地取得等）の償還終了により、1 億6,100万円、5.6%の減となった。

諸 支 出 金

土地開発公社が所有している、目的が定まっていない土地（諸用地）等を買戻す費用及び運営費等の補助

土地開発公社の借入金残高の上昇により利子補給分の補助金が増え、900万円、2.5%の増となった。

②性質別分類

性質別分類は、経済的性質を基準として分類するもので、義務的経費、投資的経費等に分けられる。

(単位：千円)

区分	平成21年度 予算額 (A)	平成20年度 予算額 (B)	比較 (C)=(A)-(B)	増減率 (%) (C)/(B)	構成比率 (%)		
					21年度	20年度	
義務的経費	人件費	11,617,533	11,765,275	△ 147,742	△ 1.3	21.0	21.3
	扶助費	7,921,223	7,560,267	360,956	4.8	14.3	13.7
	公債費	2,730,433	2,891,924	△ 161,491	△ 5.6	4.9	5.2
小計	22,269,189	22,217,466	51,723	0.2	40.2	40.2	
物件費	13,229,440	13,024,341	205,099	1.6	24.0	23.6	
補助費等	5,890,427	6,093,469	△ 203,042	△ 3.3	10.7	11.0	
繰出金	3,961,796	4,697,867	△ 736,071	△ 15.7	7.2	8.5	
投資的経費	8,837,109	8,219,865	617,244	7.5	16.0	14.9	
その他	1,012,039	1,026,992	△ 14,953	△ 1.5	1.9	1.8	
計	55,200,000	55,280,000	△ 80,000	△ 0.1	100.0	100.0	

※ 義務的経費とは、歳出のうちの支出が義務付けられており、任意に削減できない経費で、一般的に人件費・扶助費・公債費の合計額をさす。

人件費

報酬、給料、職員手当、共済費、恩給及び退職年金などの経費

職員定数適正化計画の推進や給料表の改定などによる職員給2億9,100万円や期末勤勉手当8,700万円の減などにより、1億4,800万円、1.3%の減となった。

扶助費

生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基づいて支給する経費

障害者福祉費扶助費や保育所運営委託料、認証保育所運営委託料などが増となったため、3億6,100万円、4.8%の増となった。

公債費

地方公共団体が借入れた地方債の元金及び利子の償還に要する経費

据置期間が経過し元金の返済が始まったことによる増はあるものの、過年度分の利率の高い借入分（総合体育館建設事業、陸上競技場改築、第一小学校用地取得等）の償還終了により、1億6,100万円、5.6%の減となった。

物件費

賃金、旅費、交際費、消耗品費、役務費、備品購入費、委託料、使用料などの経費

自転車駐車場運営委託料1億1,400万円、違法駐車防止交通指導員業務委託料5,000万円などの減はあるものの、みどりのこども館管理運営委託料8,100万円、住民情報系電子計算機借上料及びシステム等保守委託料8,300万円の増などにより、2億500万円、1.6%の増となった。

補助費等

市民や各種団体などに対する補助金などの経費

国庫負担金等超過受入額返還金4,500万円、衆議院議員、東京都議会議員及び市長選挙報償金3,600万円の増があるものの、市税及び税外収入還付金1億4,900万円、ダイヤ街アーケードリニューアル補助金7,500万円の減などにより、2億300万円、3.3%の減となった。

繰出金

一般会計と特別会計相互間で支出される経費

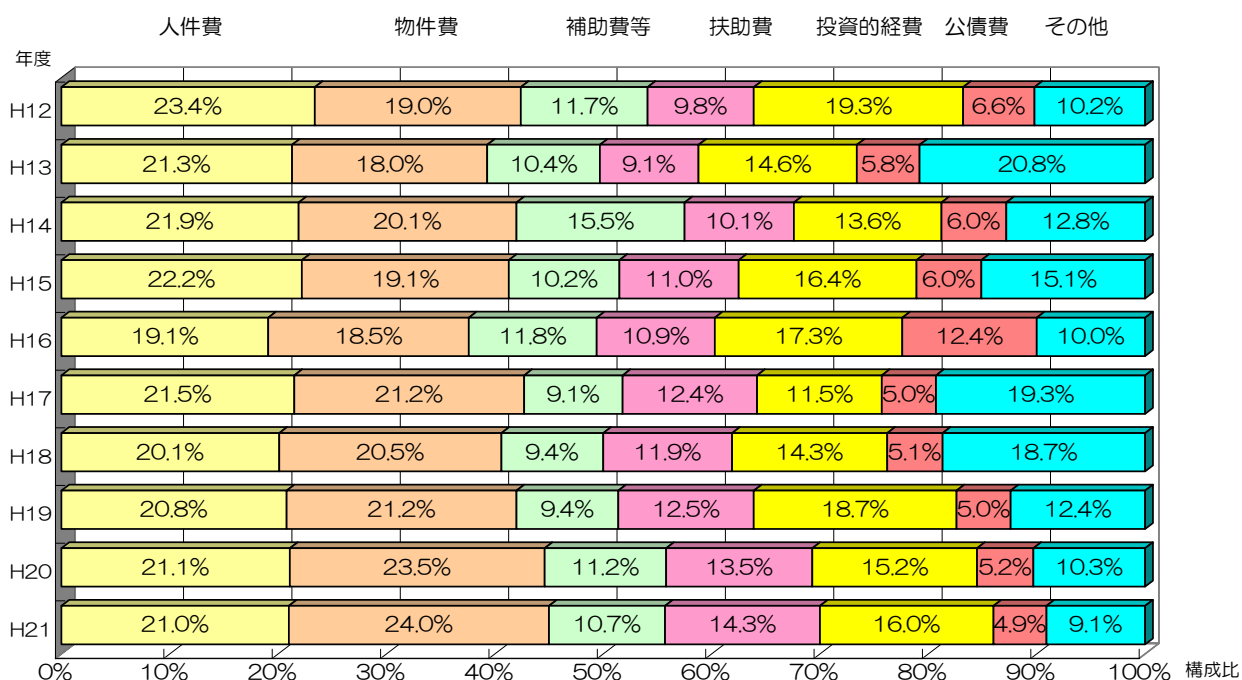
後期高齢者医療会計への2,100万円、介護保険事業会計への5,400万円の増があるものの、下水道事業会計への2億1,300万円、国民健康保険事業会計への5億3,300万円、老人保健（医療）会計への繰出金6,500万円の減により、7億3,600万円、15.7%の減となった。

投資的経費

道路、公園、学校、文教施設など公共施設の建設に要する経費

公園用地購入費2億4,500万円、庁舎改修工事費1億5,300万円の減はあるものの、武蔵野プレイス建設事業費6億5,100万円、小中学校校舎等改修工事費4億3,000万円などの増により、6億1,700万円、7.5%の増となった。

性質別の構成比の推移



※ 平成19年度までは決算額、平成20年度は補正後の予算額、平成21年度は当初予算額である。

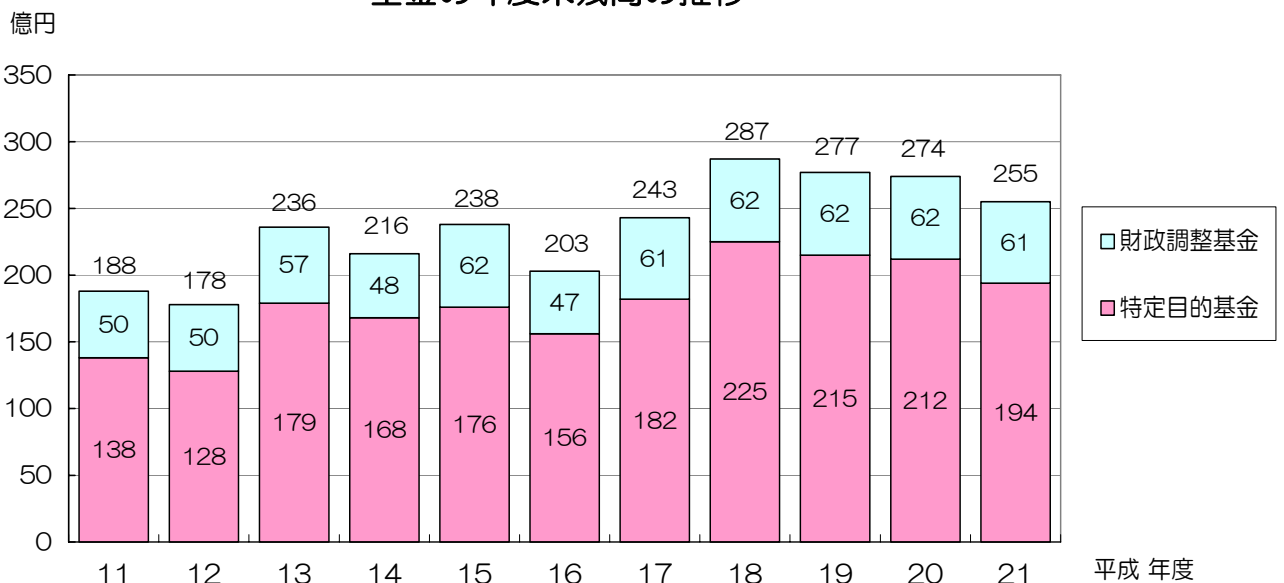
(3) 基金と市債

○基金の状況

平成21年度の基金取崩額は20億5,000万円、利子収入による積立金は1億5,300万円、平成21年度末の基金残高は、前年から18億9,700万円減少し、254億7,400万円の見込みとなる。

特定目的基金とは、地方公共団体が条例の定めるところにより、学校をはじめ公共施設の建設など特定の目的のために、財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために設けるものである。また、財政調整基金とは、各年度の収支差額の一部を積み立て、年度間の財源調整を図るためのものである。なお、平成21年度に基金を充てる事業は、武蔵野プレイス建設事業（公共施設整備基金）、小中学校耐震補強・保全・改修工事（学校施設整備基金）、公園等建設事業（公園緑化基金）、鉄道連続立体交差事業（鉄道連続立体交差化整備基金）などである。

基金の年度末残高の推移

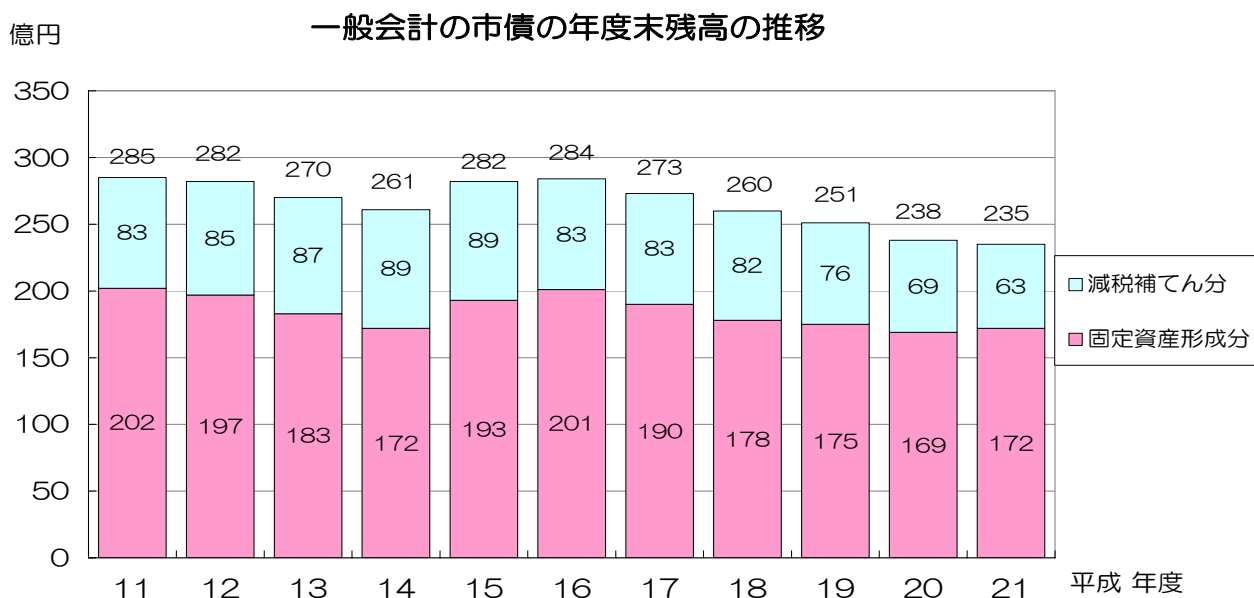


区 分		19年度末残高	20年度末残高 見込み	21年度末残高 見込み	21年度増減 見込み
財 政 調 整 基 金		6,223,177	6,244,296	6,114,584	△ 129,712
特 定 目 的 基 金	公 共 施 設 整 備 基 金	6,979,281	6,668,406	6,073,844	△ 594,562
	学 校 施 設 整 備 基 金	5,478,955	5,667,041	4,997,354	△ 669,687
	吉 祥 寺 ま ち づ くり 基 金	2,206,429	2,320,906	2,336,942	16,036
	公 園 緑 化 基 金	3,950,438	3,911,678	3,734,019	△ 177,659
	そ の 他 の 特 定 目 的 基 金	2,895,299	2,558,538	2,217,055	△ 341,483
合 計		27,733,579	27,370,865	25,473,798	△ 1,897,067

○市債残高の状況

平成21年度末の一般会計市債残高見込みは、前年から3億4,200万円減少し、234億8,100万円となる。うち減税補てん債は62億6,300万円。

市債（地方債）とは、地方公共団体が必要な財源を調達するために負う債務で、その履行が一会計年度を越えて行われるものであり、証書借入れ又は証券発行の形式をとる。また、減税補てん債とは、地方税の特別減税などによる減収額を埋めるため、特例として認められる市債で、平成18年度に廃止された。なお、市債は、市有施設などの建設にあたり資金の借入れを行い、その後5年から25年かけて返済をしていくことにより、建設時点の市民だけでなくその施設を利用する次の世代の市民にも負担を求めるといった政策的な観点より、世代間の公平を保つための方法として位置付けられている。



特別会計等を含めた借入金の残高一覧表

(単位：千円)

会計区分	17年度末残高	18年度末残高	19年度末残高	20年度末残高 見込み	21年度末残高 見込み
一般会計	27,310,090	25,957,573	25,052,399	23,823,741	23,481,439
下水道事業会計	3,038,998	3,236,896	3,473,833	3,576,935	3,653,141
介護保険事業会計	16,158	10,772	5,386	0	0
土地開発公社	9,378,400	11,205,000	8,705,000	11,296,000	10,628,000
合計	39,743,646	40,410,241	37,236,618	38,696,676	37,762,580

5 複数年度にわたる建設事業

※平成22年度以降の予定額は現時点での概算額

◎鉄道連続立体交差事業（まちづくり推進課）

（単位：千円）

総事業費		4,953,194					
年 度		7 決算額	8 決算額	9 決算額	10 決算額	11 決算額	12 決算額
事業費		14,303	65,266	86,467	115,607	115,632	152,435
内訳	負担金	14,303	65,266	86,467	115,607	115,632	152,435
上記の財源	市 債		63,000	85,900	109,600	98,000	140,000
	基金繰入金						
	一般財源	14,303	2,266	567	6,007	17,632	12,435

年 度		13 決算額	14 決算額	15 決算額	16 決算額	17 決算額	18 決算額
事業費		82,965	158,248	430,399	363,005	504,194	563,873
内訳	負担金	82,965	158,248	430,399	363,005	504,194	563,873
上記の財源	市 債	73,700	152,000	354,000	326,000		
	基金繰入金					500,000	400,000
	一般財源	9,265	6,248	76,399	37,005	4,194	163,873

年 度		19 決算額	20 決算見込額	21 予算額	22 予定額	計
事業費		477,145	323,000	299,813	1,200,842	4,953,194
内訳	負担金	477,145	323,000	299,813	1,200,842	4,953,194
上記の財源	市 債					1,402,200
	基金繰入金	477,145	280,000	280,000	1,000,000	2,937,145
	一般財源	0	43,000	19,813	200,842	613,849

◎市営西久保住宅建替工事（住宅対策課）

（単位：千円）

総事業費		456,829		
年 度		20 決算見込額	21 予算額	計
事業費		196,397	260,432	456,829
内 訳	委託料	5,198	8,904	14,102
	工事請負費	190,800	248,855	439,655
	備品購入費			
	土地購入費			
	その他	399	2,673	3,072
上 記 の 財 源	国庫支出金	61,475	54,332	115,807
	都支出金	36,750	41,280	78,030
	市 債	48,400		48,400
	基金繰入金	30,000	20,000	50,000
	一般財源	19,772	144,820	164,592

※国庫支出金は地域住宅交付金、都支出金は区市町村公営住宅建設事業補助金

◎桜野小学校校舎等増築工事（教育企画課）

（単位：千円）

総事業費		668,527			
年 度	20 決算見込額	21 予算額	22 予定額	計	
事 業 費	26,046	333,780	308,701	668,527	
内 訳	委 託 料	26,046	12,500	8,149	46,695
	工 事 請 負 費		321,120	300,480	621,600
	備 品 購 入 費				
	土 地 購 入 費				
	そ の 他		160	72	232
上 記 の 財 源	国庫支出金		5,734	4,772	10,506
	都 支 出 金		22,850		22,850
	市 債		105,400	87,700	193,100
	基金繰入金		160,000		160,000
	一 般 財 源	26,046	39,796	216,229	282,071

※国庫支出金は安全・安心な学校づくり交付金、都支出金は市町村総合交付金

◎武蔵野プレイス建設事業（武蔵野プレイス（仮称）開設準備室）

（単位：千円）

総事業費		7,351,752							
年 度	17	18	19	20	21	22	23	計	
	決算額	決算額	決算額	決算見込額	予算額	予定額	予定額		
事業費	28,592	10,682	2,609,349	498,018	1,163,944	2,985,455	55,712	7,351,752	
内 訳	委託料	28,592	9,452	60,512	102,536	75,280	87,491	1,346	365,209
	工事請負費				395,054	1,039,615	2,762,431	54,000	4,251,100
	備品購入費					48,000	130,000		178,000
	土地購入費			2,548,837					2,548,837
	その他		1,230		428	1,049	5,533	366	8,606
上 記 の 財 源	国庫支出金			854,951	278,859	63,870	95,078		1,292,758
	都支出金								
	市債					731,000	1,973,000		2,704,000
	基金繰入金			1,700,000	100,000	180,000	200,000		2,180,000
	一般財源	28,592	10,682	54,398	119,159	189,074	717,377	55,712	1,174,994

※国庫支出金はまちづくり交付金

6 特徴ある事業

目次

1 市民の健康増進及び高齢者・障がい者を守る福祉の充実	
○お母さんも子どもも健やかに	22
○住み慣れた地域でいつまでも	23
○介護生活をサポート	24
○子どもと親の元気とその子らしい育ちを応援	25
2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実	
○子育て支援施策の充実	26
○“武蔵野の学び”の目指す方向を定めます	27
○桜野小学校を増築	28
○“学ぶ意欲”を応援	29
○中学校給食を実施	30
3 持続可能な環境共生都市づくり	
○地球環境のためにできること	31
○環境に配慮したみちづくり	32
○緑と水のネットワークづくり	33
4 活力ある都市を目指して	
○がんばれ！武蔵野の農業	34
○活力ある商店街を応援します	35
○緊急雇用対策を実施します	36
5 安全・安心なまちづくり	
○地震に強い学校に	37
○万が一の災害に備えて	38
○上水道の耐震化を推進	39
○災害に備え下水道を強化します	40
○新型インフルエンザ発生に備えます	41

6 市民文化の創造へ向けて	
○平和の尊さを次世代につなぐ	42
○ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス	43
7 新たなまちづくりの時代へ	
○良好で魅力ある都市づくり	44
○魅力あふれる吉祥寺を目指して	45
○中央地区“安全で便利なまちづくり”	46
○“進化するまち”武蔵境	47
8 都市のリニューアルの推進	
○人と自転車にやさしいまちへ	48
○公共交通サービスのさらなる向上へ	49
9 市民との協働時代へ向けての取組み	
○協働を市民と育む	50
○男女共同参画社会の実現	51
10 健全な財政運営と市役所改革の推進	
○効率的な行政運営のために	52

1 市民の健康増進及び高齢者・障がい者を守る福祉の充実

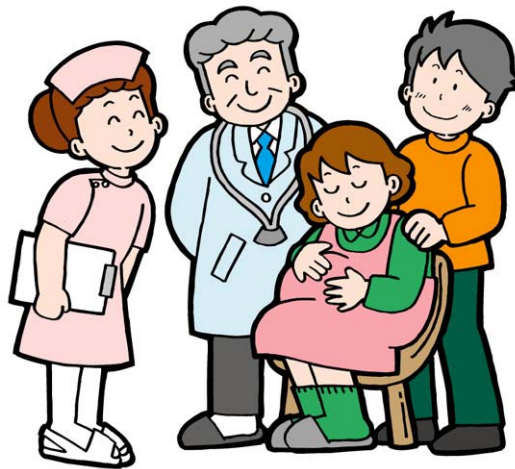
お母さんも子どもも健やかに

安心して出産に臨めるように、妊婦の健康診査への補助を拡大する。また、地域医療の拠点である武蔵野赤十字病院と連携し、小児科・産婦人科の救急医療体制を充実させ、母親も乳幼児も安心して生活できる環境を整える。

◎ 妊婦健康診査の充実

予算額 94,099 千円

妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減のために、妊婦健康診査の公費負担回数を9回分増やし、受診票を14枚交付する。また、里帰り出産と助産所での受診者についても、新たに助成の対象に加える。



◎ 小児・産婦人科救急医療運営費補助金

武蔵野赤十字病院との連携を図り、現行の小児救急医療体制の整備に加え、周産期医療の充実を進め、円滑な救急医療活動を支援する。

予算額 13,000 千円

担当：健康福祉部健康課
☎ 0422-51-0700

1 市民の健康増進及び高齢者・障がい者を守る福祉の充実

住み慣れた地域でいつまでも

誰もが、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、施設の整備や地域人材による介護の担い手の養成、相談事業の充実など、支援事業を行う。

1 サテライト型小規模老人保健施設整備事業

平成 23 年度末までに介護療養型医療施設が廃止されることに伴い、在宅などに戻る医療ニーズが高い高齢者の生活を支えるため、老人保健施設を運営する(財)天誠会が、境 1 丁目にサテライト型小規模老人保健施設「あんず苑アネックス」(仮称)を整備する費用の一部を助成する。

予算額 25,000 千円

2 施設介護サポーターモデル事業

地域住民の社会参加促進と介護保険施設の活性化のため、施設の業務を組織的・定期的にサポートする「施設介護サポーター」の養成研修を行うとともに、サポーターの活動の場である吉祥寺ナーシングホームにコーディネーターを配置し、サポーター業務を支援する。(東京都モデル事業)

予算額 4,411 千円

3 高次脳機能障害者相談支援事業

事故や脳血管障害などにより、脳に損傷を受け高次脳機能障害になった方とその家族に対して、障害者福祉センターで専門の相談員による相談支援事業を行う。

予算額 4,625 千円

担当：健康福祉部高齢者支援課 ☎ 0422-60-1846(1・2)
健康福祉部障害者福祉課 ☎ 0422-60-1904(3)

1 市民の健康増進及び高齢者・障がい者を守る福祉の充実

介護生活をサポート

介護サービス利用者やその家族の負担を軽減するために、利用者負担額の助成などを行う。

◎ 介護保険利用者負担額助成事業

予算額 28,163 千円

住民税非課税世帯の方を対象に、訪問介護、介護予防訪問介護、夜間対応型訪問介護の利用者負担額の半額(10%のうち5%分)を助成する。

◎ 通所サービス利用者食費助成事業

予算額 12,434 千円

住民税非課税世帯の方を対象に、通所系サービスの食費について、一食あたり200円を助成し、利用者の食事負担金を軽減する。

◎ 家族介護用品支給事業の充実

予算額 6,895 千円

常時おむつを着用する必要がある高齢者を介護している家族に対し、月額8,000円を限度とした家族介護用品(おむつ)の現物支給の要件を緩和し、対象を拡大する。



担当：健康福祉部高齢者支援課

☎ 0422-60-1846

1 市民の健康増進及び高齢者・障がい者を守る福祉の充実

子どもと親の元気と その子らしい育ちを応援

子どもを含むすべての市民が、地域や学校で安心して生活できるよう、「地域リハビリテーション」の理念に基づき、さまざまな状況にある子どもたちとその親を応援し、その子らしい育ちを支援する。

1 「みどりのこども館」の開設

予算額 87,404 千円

平成21年4月に、子どもと親の元気を応援する拠点として、緑町2丁目の都営住宅内に「みどりのこども館」を開設する。発達が気になる子どもたちとその親を支援する「地域療育相談室ハビット」と、配慮が必要な子どもの通園施設「こども発達支援室ウィズ」が、連携をとりながら乳幼児期を中心に発達支援を行う。また7月には、おもちゃを使つてのびのび親子で遊ぶ場「おもちゃのぐるりん」を開設する。



▲みどりのこども館

2 特別支援教育の推進

予算額 27,672 千円

発達障害を専門とする大学教授など専門家スタッフを学校へ派遣する回数を増やし、特別支援教育の校内体制の充実を図る。学習障害などの児童を対象に、特定の教科を個別学習する特別支援教室がモデル事業2年目となり、本格実施に向け検証・整備を行う。

担当：健康福祉部障害者福祉課 ☎ 0422-60-1904(1)
教育部教育支援課 ☎ 0422-60-1908(2)

2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実

子育て支援施策の充実

子育て支援施策を効果的に行うために、施設・計画・組織の整備を進める。

1 新規認可保育所の開設

予算額 87,010 千円

待機児童解消のために、西久保2丁目に新しく認可保育所を整備する。開設は平成 21 年 12 月 1 日を予定。設置・運営者は社会福祉法人精華子ども会。

2 第三次子どもプラン武蔵野の策定

予算額 6,544 千円

“すべての子どもの健やかな育ちを支援する”という視点に立ち、より総合的に子育て支援策を進めていくために、第三次子どもプラン武蔵野を策定する。

3 武蔵野市子ども協会の法人化

予算額 3,060 千円

子どもたちが健やかに成長することを家庭、地域、学校などと一体となって促進するという同協会設立の理念に基づき、子ども施策を広く担うことのできる組織へと強化を図る。また、子ども関連施策に事業を拡大することに備えて、財団法人化を目指す。



◀ 0123 吉祥寺まつり(平成 20 年 11 月)

4 私立幼稚園補助金の拡充

予算額 36,500 千円

私立幼稚園における教育内容のさらなる充実を図るため、配慮を必要とする園児に特別な支援を行っている園に対し、補助制度を新設する。また、耐震設備などの設置にかかる経費を新たに補助するほか、預かり保育への補助についても拡充する。

担当：子ども家庭部保育課

☎ 0422-60-1854(1)

子ども家庭部子ども家庭課

☎ 0422-60-1851(2・3・4)

2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実

“武蔵野の学び”の目指す方向 を定めます

武蔵野市の教育施策に関する計画の策定を行い、これからの目指すべき方向性を定めるとともに、施策の体系化を行う。

1 教育基本計画（仮称）の策定

予算額 2,424 千円

これからの武蔵野市の学校教育のあるべき姿と具体的な施策について、学識経験者や公募委員を含めた11名の委員により検討を行い、基本計画を策定する。

2 生涯学習計画（仮称）の策定

予算額 8,483 千円

生涯学習施策を体系的に推進していくための指針となる生涯学習計画を、生涯学習市民意識調査の結果や社会教育委員の意見を参考しつつ、策定する。



▲地域自由大学共同講演会

3 図書館基本計画（仮称）の策定

予算額 9,186 千円

図書館運営委員会による図書館のあり方についての提言（平成20年10月）や、一般市民・利用者への図書館に関する意識調査結果を参考にしながら、今後のサービス展開や管理運営方法などについて検討し、基本計画を策定する。



▲中央図書館外観

担当：教育部教育企画課	☎ 0422-60-1894 (1)
教育部生涯学習スポーツ課	☎ 0422-60-1902 (2)
教育部図書館	☎ 0422-51-5145 (3)

2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実

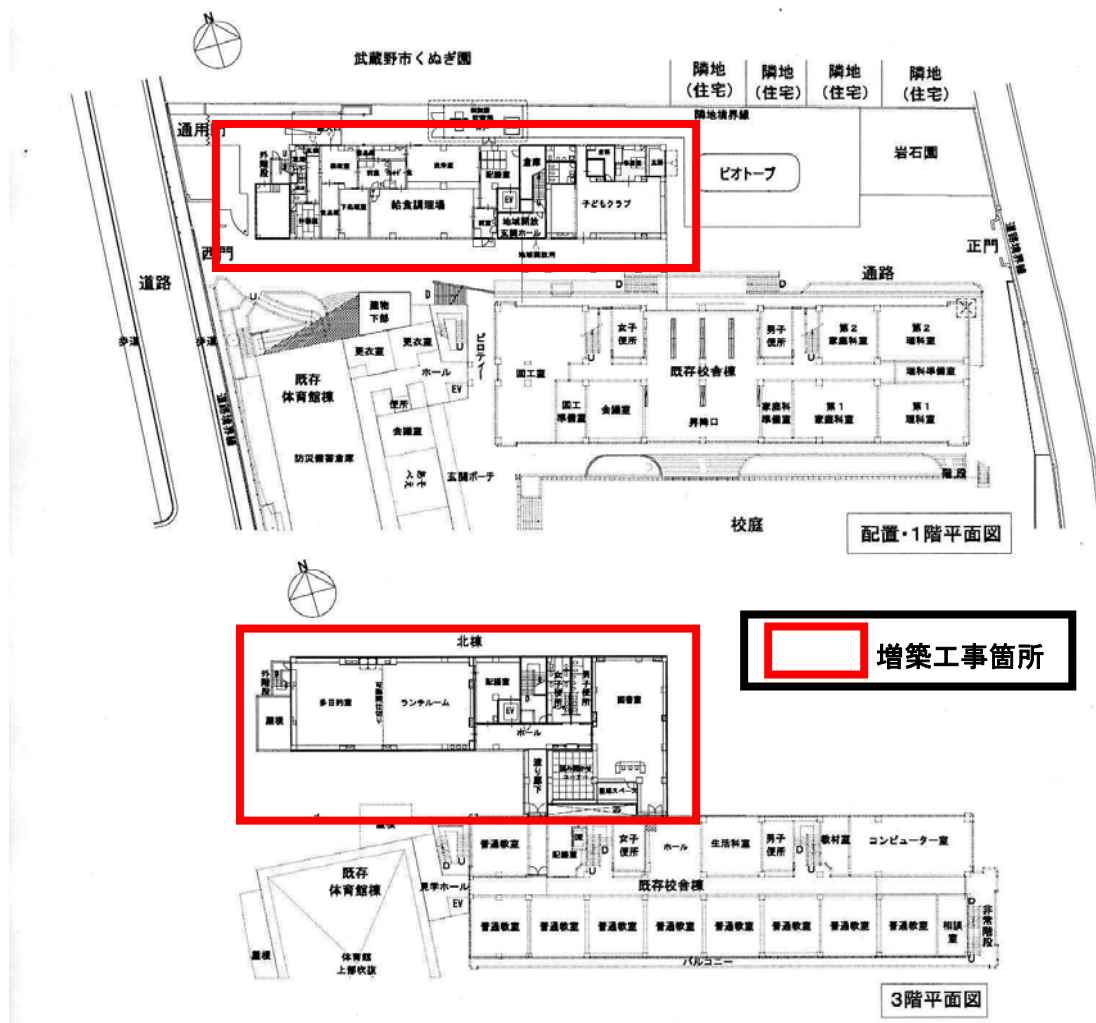
桜野小学校を増築

桜野小学校学区内で見込まれる児童数増加に対応できるよう、校舎を増築する。

◎ 桜野小学校校舎増築工事

予算額 333,780 千円

学区内の児童数増加が見込まれているため、既存校舎棟の北側に校舎棟を増築する。増築部分には、中学校給食完全実施に向けて、調理施設を併設する。



担当：教育部教育企画課

☎ 0422-60-1895

2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実

“学ぶ意欲”を応援

小学校高学年の児童のさまざまな興味・関心にこたえられるよう、理科や外国語活動において専門的な指導の可能なスタッフを市立小学校に派遣し特色ある学校教育を進める。

◎ 新学習指導要領への対応

予算額 16,318 千円

新学習指導要領の趣旨を踏まえ、理科教育の充実を図るとともに、新設された小学校外国語活動の円滑な実施に向けた支援を行う。

・小学校理科専科教員の配置

小学校高学年における理科授業の充実を図り、自然や科学への興味・関心を高めるため、専門性や指導力の高い理科の非常勤講師を6校に配置する。



▲理科授業の様子(第二小学校)

・小学校外国語活動への支援

異文化理解を深めるとともにコミュニケーション能力の向上を図るため、外国語指導助手(ALT)を市立小学校に年間20~35時間派遣する。



▲外国語活動の様子(井之頭小学校)

担当：教育部指導課

☎ 0422-60-1897

2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実

中学校給食を実施

平成 20 年度に引き続き、中学校給食を実施する。

◎ 中学校給食の実施

予算額 590,275 千円

平成 21 年度は、中学校給食を、2 学期に 2 校、3 学期に 1 校開始する。



▲第二中学校での給食開始当日の様子(平成 20 年 11 月 4 日)

担当：教育部給食課

☎ 0422-54-2090

3 持続可能な環境共生都市づくり

地球環境のためにできること

市域の温室効果ガス排出抑制や太陽光発電のための助成事業や、ごみ減量を推進する。

1 市域CO₂排出削減推進事業

予算額 8,500 千円

二酸化炭素など温室効果ガスの排出量を減らすため、市内の中小零細事業所の業務用設備の省エネ診断と改善のアドバイスを無料で実施する。併せて、診断後の設備改修についての借入金利子を補助する。また、「省エネの手引き」を市民・事業者に配布し、環境配慮行動を促す。

2 太陽光発電支援モデル事業

予算額 5,000 千円

太陽光発電設備を設置している市民に対して、発電量に応じた補助を行う。余剰電力(自家消費分以外で売却しているもの)1kWhにつき15円を補助し、効果測定も行う。

3 レジ袋削減の推進

予算額 3,912 千円

市内スーパーなどにおいて「レジ袋有料化」またはその手法などの実証実験を行い、レジ袋削減会議においてレジ袋削減のための具体的な方法を検討する。

市役所内売店でもリユースバッグを使用 ▶



4 給食^{ざんさ}残渣資源化処理

予算額 10,020 千円

給食の食べ残しを回収し、資源としての再利用を図り、ごみを減量する。

担当：環境生活部環境政策課	☎ 0422-60-1841(1・2)
環境生活部ごみ総合対策課	☎ 0422-60-1802(3)
教育部給食課	☎ 0422-54-2090(4)

3 持続可能な環境共生都市づくり

環境に配慮したみちづくり

雨水流出抑制や地下水涵養^{かんよう}、路面温度低減によるヒートアイランド現象緩和などを目的に、透水性舗装および遮熱性舗装による道路整備事業を行う。

◎ 環境舗装事業

予算額 164,450 千円

- ・透水性舗装 平成 18 年度からの試験施工を踏まえ、市全域の生活道路を対象に実施する。21 年度は 5 路線(約 3,500 m²)を予定。
- ・遮熱性舗装 事業効果の高い路線を対象に試験施工を実施する。21 年度は市道第 2 号線(約 600 m²)を予定。



担当：都市整備部道路課
☎ 0422-60-1861

3 持続可能な環境共生都市づくり

緑と水のネットワークづくり

緑の拠点（公園、緑地）の整備とともに、民間所有の緑も含めて確保することで、緑化の推進と緑のネットワーク化を図る。また、生態系に配慮した市内の水辺空間の保全・再生により、緑豊かな住環境を整備する。

◎ 緑と水のネットワーク・民有地の緑創出事業

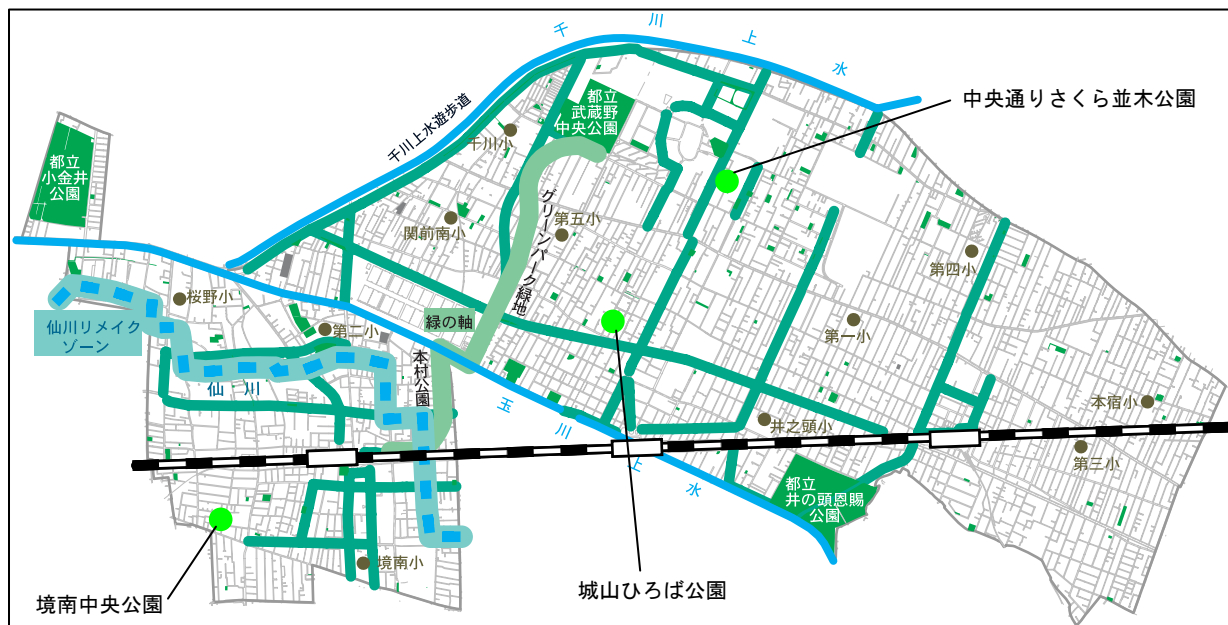
予算額 1,659,824 千円

緑の拠点…境南中央公園・中央通りさくら並木公園・城山ひろば公園・グリーンパーク緑地の用地取得を含む公園緑地の拡充

水辺環境…仙川の自然護岸への河川改修工事、維持管理業務

その他…民有地の緑の減少に歯止めをかけ、市内の緑の質の向上を図るため、大木となる苗木を配布し、緑化に有効である高木を増加させる「未来へ育て！苗木すくすく大木計画」を実施

緑と水のネットワーク



担当：都市整備部緑化環境センター
☎ 0422-60-1864

4 活力ある都市を目指して

がんばれ！武蔵野の農業

武蔵野市の農業を元気にするため、農家の経営改善計画を支援し、農地の保全を図る。

◎ 認定農業者経営改善支援補助金

予算額 2,500 千円

市の認定農業者が5年後の経営改善計画を達成するために機器購入などの基盤整備を行う場合、年間1戸50万円を上限に、経費の1/2以内を補助する。

◎ 登録農地育成事業

予算額 2,000 千円

5アール以上の農地を武蔵野市登録農地に指定し、農地の保存協定を10年間締結する。その農地所有者の農業経営に必要な施設などの導入に要する経費の1/2を10年間に2回農地の面積に応じて80万円を上限に助成し、農地の保全を図る。



▲市内の農地・農園

担当：環境生活部生活経済課

☎ 0422-60-1833

4 活力ある都市を目指して

活力ある商店街を応援します

商店街利用者や来街者の安全確保と商店街の活性化のために、商店会活動を支援する。

◎ 装飾街路灯維持管理経費補助事業

予算額 6,800 千円

商店街の装飾街路灯などの維持管理に係る経費についてその一部を補助する。
(「新・元気を出せ!商店街事業費補助金」など既存の補助金で対象とならない事業に補助)

◎ Mu~SHOP補助事業

予算額 3,324 千円

市内の秀でた商店を、商店会連合会が「Mu~SHOP」と認定し、広く市民に周知することにより、市内路線商店街の活性化を図る。平成19年度の事業実施以降、現在108店の店舗がMu~SHOPの認定を受けており、21年度は再審査と追加認定を実施する。



◎ ダイヤ街アーケードリニューアル補助事業（景観舗装事業）

ダイヤ街アーケードリニューアル事業として平成20年度は本体工事、21年度は景観舗装工事を実施し、アーケード整備が終了する。本事業実施により、街の魅力が増し、吉祥寺全体の商業の活性化を図る。

予算額 38,500 千円

担当：環境生活部生活経済課

☎ 0422-60-1832

4 活力ある都市を目指して

緊急雇用対策を実施します

昨今の厳しい社会経済状況、雇用情勢などにかんがみ、下記の緊急雇用対策を実施する。

1 緊急雇用対策事業

予算額 49,881 千円

緊急雇用対策として、市役所の業務のうち、庶務的業務や窓口業務、事業の補助などの業務について、従来の中高齢者障害者雇用創出事業に加え、市職員の超過勤務を縮減し、それを財源として、嘱託職員を20名程度雇用する。

雇用期間：原則として4月1日～22年3月31日(1年間)

*更新する場合あり(最長2年間)

2 ヘルパー養成研修受講支援事業（ケアキャリア21）

介護現場の福祉人材不足を解消し、高齢者・障がい者の方々に安全・安心の生活を送っていただくため、(財)武蔵野市福祉公社ホームヘルプセンター武蔵野で

予算額 1,220 千円

実施しているホームヘルパー2級養成講習会の枠を倍増(35名を70名)し、講習修了後、「武蔵野市介護サービス事業者リスト」(高齢者サービスの手引き別冊)に掲載されている事業所に勤務または登録した講習生に、受講料の8割をキャッシュバックします。

内容：受講料 50,000 円(テキスト・実習費など含む)のうち、講習生が上記の事業者に勤務または登録して一定時間活動した場合は、40,000 円を返金

*このほか、(財)福祉公社予算で3,000千円を計上

<参考(※)>

併せて東京都の緊急雇用創出区市町村補助金 30,000 千円を活用した雇用創出事業も実施する。

担当：総務部人事課	☎	0422-60-1810(1)
健康福祉部高齢者支援課	☎	0422-60-1846(2)
環境生活部生活経済課	☎	0422-60-1832(※)

地震に強い学校に

地震の際に児童・生徒の身に危険が及ばないようにするとともに、小中学校が地域の防災拠点として機能できるよう、耐震補強工事や緊急地震速報システムの設置を行う。

◎ 小中学校耐震補強工事

予算額 1, 278, 299 千円

夏休み期間を中心に、小学校4校、中学校2校で実施する。

(第一小学校校舎棟、第三小学校校舎棟、第四小学校北校舎(東・西)棟、第五小学校西校舎棟、第一中学校東・西校舎棟、第六中学校西校舎棟)

◎ 小中学校緊急地震速報システム設置工事

地震発生時に、大きな揺れが到達する前にメッセージが流れる緊急地震速報の専用端末を、市立小中学校全18校の教室や職員室などに設置する。

予算額 6, 950 千円



担当：教育部教育企画課
☎ 0422-60-1895

万が一の災害に備えて

災害発生時の市民生活の安定を確保し、消防力の強化とともに被害の最小化のため、家具転倒防止器具の普及を図る。

◎ 災害用トイレ設置工事

予算額 17,000 千円

避難所の機能充実を図るため、マンホール式の災害用トイレの整備を行う。

◎ 飲料水兼用耐震性貯水槽の整備

予算額 76,400 千円

吉祥寺南町コミュニティセンター広場内に飲料水兼用耐震性貯水槽を整備することにより、災害時の給水拠点を確保し、あわせて消防水利としての機能も持たせる。

◎ 消防ポンプ自動車の購入

予算額 44,000 千円

火災・災害発生時の消防力を強化し、迅速な消防活動を行うため、消防用装備と機能を充実させた車両に更新する。



▲武蔵野市消防団のポンプ車

◎ 家具転倒防止器具普及事業

予算額 26,036 千円

家具転倒防止器具の購入・設置を希望する世帯に対し、一定金額までは無料で器具の配布・設置を行い、震災時の人的被害を軽減する。

(財源は東京都区市町村振興協会の基金を活用)

担当：防災安全部防災課

☎ 0422-60-1821

上水道の耐震化を推進

災害に強いまちを目指し上水道の耐震化を進める。

◎ 上水道耐震化工事

予算額 858,740 千円

平時はもとより災害時にも、安全でおいしい水の安定供給を確保するために、新設および耐震性に劣る配水管(鋳鉄管・ビニル管)を耐震性ダクタイル鋳鉄管に取り替え、配水管網の整備を推進する。



▲配水管の耐震化工事

担当：水道部工務課

☎ 0422-52-0735

災害に備え下水道を強化します

災害に強いまちを目指し、雨水貯留浸透施設の設置や下水道の耐震化を進めるとともに、快適環境を確保するため、臭気対策の支援、合流式下水道の改善もあわせて行う。

◎ 雨水貯留浸透施設設置事業

予算額 129,000 千円

市立小・中学校(全 18 校)のうち、2 校(第三中学校・第五中学校)に雨水貯留浸透施設を設置する。平成 17 年 9 月 4 日に発生した集中豪雨(1時間当たり 95.5 mm)により、浸水被害の最も多かった善福寺川排水区から、今後も順次設置する。

*平成 20 年度末で、中学校 1 校、小学校 5 校、公園 2 カ所に設置。合計 3,400 トン分の雨水浸透施設整備が完了。



▲20 年度に設置した本宿小学校

◎ 公共下水道耐震化工事

予算額 130,600 千円

防災拠点や重要施設の有無、敷設年度などを分析し作成した実施計画に基づき、早急に改良が必要な個所から工事を実施する(5 力年計画の 5 年目)。

◎ 臭気対策支援事業

予算額 1,500 千円

下水道施設を通し発生している臭気を軽減し、快適に生活できる環境を確保するため、原因となっているビルピットなどの改修費用の支援を行う。

◎ 合流式下水道改善事業

予算額 31,400 千円

本市の雨水の排出先である神田川および善福寺川流域の水環境や景観の向上、浸水被害の低減を図るため、本市から排出される汚濁雨水を一時貯留する雨水貯留施設を法政高校跡地などに設置するための基本設計などを行う。

担当：都市整備部下水道課 ☎ 0422-60-1868

新型インフルエンザ発生に備えます

新型インフルエンザの発生に備え、市民自らが備えることの必要性をPRするとともに、市民の健康を守るため、対策に必要な物品を調達する。

◎ 新型インフルエンザ対策

予算額 6,624 千円

平成 19 年度に策定された武蔵野市新型インフルエンザ対策行動計画に基づき、新型インフルエンザの発生に備えた具体的な対策として、感染を防止するため、感染防護衣等の資器材や薬剤の購入・備蓄を進める。



担当：健康福祉部健康課

☎ 0422-51-0700

6 市民文化の創造へ向けて

平和の尊さを次世代につなぐ

戦争・核兵器の恐ろしさ、平和の尊さを積極的に市民に発信する。

◎ 戦争体験の記録・収集事業

予算額 781 千円

戦後 60 年以上が経ち、戦争体験の次世代への継承が難しくなっていることをふまえ、市内での戦争体験談の収集や聞き取り調査、戦争記録集の発行などを行う。また原爆に関連するパネルを製作し、被爆体験の記録も合わせて継承していく。

◎ 非核都市宣言平和事業

予算額 420 千円

平成 20 年度に引き続き、地域団体や平和関連団体、公募委員による非核都市宣言平和事業実行委員会により、写真パネル展や講演会など平和事業の企画・運営を行う。



▲市役所ロビーで開催した写真パネル展示会(平成 20 年 8 月)

担当：企画政策室市民協働推進課
☎ 0422-60-1829

ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス

◎ 武蔵野プレイス建設事業

予算額 1, 163, 944 千円

武蔵境駅南口の農水省食糧倉庫跡地に、「図書館」を中心に「生涯学習」「青少年活動支援」「市民活動支援」の4つの機能を融合させ、子どもたちからお年寄りまでが交流する場として、地域社会の活性化を深める新しいタイプの公共施設を建設。(平成23年夏オープン予定)



担当：教育部武蔵野プレイス(仮称)開設準備室 ☎ 0422-60-1943

良好で魅力ある都市づくり

まちづくりの基本となる都市マスタープランを見直すとともに良好な都市景観を創り出すために、優先的に整備する路線を選定し事業化に備える。

1 都市マスタープランの見直し

予算額 10,608 千円

社会情勢の変化に対応するため、都市マスタープランの見直しを行う。まちづくり条例に規定した変更手続きに沿って、市民意見を反映させた全体構想、地域別構想の見直しを行うとともに、高さ制限や景観についての考え方も検討する。

2 景観整備優先路線の事業化計画の策定

予算額 23,000 千円

歩いて楽しい安全な道路空間の確保や防災機能向上のため、電線類地中化、舗装のカラー化や装飾灯、木製ガードレールの設置などを優先的に景観整備する路線を選定し、事業化計画を策定する。



▲木製ガードレールが設置されている境南通り

担当：都市整備部まちづくり推進課 ☎ 0422-60-1872(1)
都市整備部道路課 ☎ 0422-60-1861(2)

魅力あふれる吉祥寺を目指して

吉祥寺駅周辺の諸課題の解決を目指し、より魅力あふれる吉祥寺のまちを創造する。

1 吉祥寺駅周辺整備計画策定

予算額 5,000 千円

吉祥寺駅の改良に伴い、駅からまちに出やすい環境を創出するため、駅前の歩道や高架下の景観など、駅周辺の公共空間の整備計画を策定する。

2 吉祥寺方式物流対策委員会運営支援

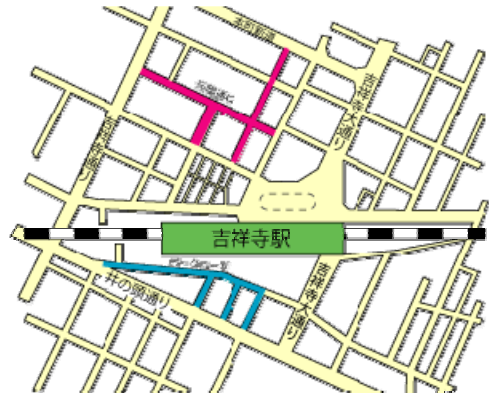
予算額 2,000 千円

吉祥寺の都市内物流について、平成 20 年度に関係者による委員会を設立し、吉祥寺のまちづくりの一環として、荷捌き対策を進めている。委員会の自立と継続的な活動に向けて運営支援を行う。

3 市道第 189 号線(元町通り) 外 2 路線道路改修工事

予算額 53,900 千円

元町通りほか2路線を吉祥寺駅周辺地区としてふさわしい魅力ある道路として再整備する。



4 市道第 2 号線(パークロード) 道路改修工事

予算額 55,900 千円

南口駅前広場の整備を視野に、パークロードを景観や環境に配慮した道路として再整備する。

担当：都市整備部吉祥寺まちづくり事務所 ☎ 0422-21-1118 (1・2)
都市整備部道路課 ☎ 0422-60-1861 (3・4)

7 新たなまちづくりの時代へ

中央地区“安全で便利なまちづくり”

三鷹駅周辺の市中央地区について、駅北口から延びる道路環境の整備を進め、人にやさしいみちづくり、まちづくりを進める。

1 都市計画道路7・6・1号線（御殿山通り）事業

三鷹駅から井の頭公園へのアクセス道路として、玉川上水の景観に配慮した歩行者に優しい快適な道路整備を図る。

平成23年度の事業完了を目途に用地買収を推進する。また、人道橋設置に向けた基礎調査を行う。

予算額 129,500 千円



▲完成イメージ図

2 市道第16・129号線道路改修

三鷹駅から市民文化会館に向かう「かたらいの道」の整備の一環として、市道第16・129号線を拡幅整備し、電線類の地中化、車道部分の遮熱性舗装などを施工する。（整備完了は22年度前半を予定）

予算額 180,000 千円



▲かたらいの道

3 三鷹駅前公共スペース整備事業

市民同士の情報交換・交流と市政情報の発信のため、三鷹駅北口に建設される大型マンションに設置する公共スペースを、市民会議室（仮称）として整備する。

予算額 50,000 千円

担当：都市整備部道路課	☎ 0422-60-1861(1・2)
企画政策室市民協働推進課	☎ 0422-60-1831(3)
地域情報・市民施設担当	

“進化するまち”武蔵境

JR中央線と西武多摩川線の鉄道連続立体交差事業にあわせ、駅周辺の南北道路の整備や地域の活性化を図り、南北地域一体のまちづくりを推進する。

1 鉄道連続立体交差事業

予算額 317,598 千円
(積立基金10,555千円と合算)

事業費の一部を負担、側道整備に係る測量実施のほか、JR中央線連続立体交差事業の経過を鉄道事業史としてまとめる。
(平成21年度末に東側区間<三鷹駅~国分寺駅間>の高架上り線切り替え予定)

2 武蔵境駅周辺開発事業

予算額 123,870 千円

鉄道連続立体交差事業に合わせ、北口駅前広場や駅周辺の南北道路(市道第291号線、都道123号線)を整備し、地域の活性化を図る。



昨年完成した武蔵境駅南口駅舎連続施設 ▶

3 武鉄中付第1~3号線の無電柱化

予算額 25,000 千円

武鉄中付第1~3号線の整備に向け、無電柱化の検討を行う。



▲ 武蔵境駅周辺の整備予定箇所

担当：都市整備部まちづくり推進課	☎ 0422-60-1872(1)
都市整備部境開発事務所	☎ 0422-52-0151(2)
都市整備部道路課	☎ 0422-60-1861(3)

人と自転車にやさしいまちへ

自転車の駐車・走行対策を推進するため、利用者のマナー向上と交通ルールの周知徹底を図り、道路整備や駐輪場の設置を行う。

◎ 自転車安全利用講習会などの実施

予算額 18,300 千円

平成20年度に引き続き、一般講習会を平日夜間・土日などに開催し、回数を増やすだけでなく、出前型の講習を充実させる。また中学生には、スタントマンを活用した事故再現型講習も実施する。



◎ 市道第199号線（かえで通り）自転車道整備工事

三鷹市と連携し、東八道路から武蔵境駅南口境南通りまでの間に自転車道を整備する。

予算額 20,000 千円

◎ 三鷹駅北口建設大型マンション地下自転車駐車場整備

三鷹駅北口に建設されている大型マンションに収容台数約1,500台の自転車駐車場を整備する。

予算額 66,000 千円

◎ 吉祥寺駅周辺地下自転車駐車場等整備検討調査

吉祥寺駅周辺における地下自転車駐車場などの整備を検討する。

予算額 5,000 千円



▲かえで通りイメージ図。すべり止め舗装や防護柵を施す。

担当：都市整備部交通対策課

☎ 0422-60-1860

公共交通サービスのさらなる向上へ

市民の誰もが利用しやすい交通体系の実現に向け、ムーバスを含む地域公共交通機関のサービス向上を図る。

◎ バス交通サービス向上に関する調査等業務委託

平成 20 年度に実施した調査などを基に、課題を抽出・分類して改善・充実に向けた方針および具体的施策を策定する。

予算額 5,000 千円

- ・地域公共交通会議の運営補助、専門部会などの設置、開催補助
- ・第 3 次武蔵野市市民交通計画の策定に向けた協議、検討など



▲ムーバス吉祥寺(北西循環)

担当：都市整備部交通対策課

☎ 0422-60-1859

9 市民との協働時代へ向けての取組み

協働を市民と育む

地方分権が進み新たな自治体・市民のあり方が問われている時代に当たり、武蔵野市における市と市民との協働、市政への参画をより一層促すための取り組みを行う。

1 協働サロン活性化・協働推進及びパートナーシップ推進事業



予算額 2,872 千円

市民協働サロンを活性化し、その機能を強化するために、講座・相談事業を充実させる。また、市NPO活動促進基本計画に沿った市民協働の普及啓発を行う。

◀ 市民協働サロン一周年イベント(平成20年9月)

2 分権と協働の時代における自治体運営の検討

平成20年度に引き続き、「自治体運営の基本ルール」の必要性について議論を行う機運を高めていくために、勉強会やシンポジウムを開催する。

予算額 1,519 千円

担当：企画政策室市民協働推進課 ☎ 0422-60-1830(1)
企画政策室企画調整課 ☎ 0422-60-1801(2)

男女共同参画社会の実現

第二次男女共同参画計画を着実に推進するため、市民会議の設置とむさしのヒューマン・ネットワークセンターの拡充を行う。

1 第二次男女共同参画計画の推進

予算額 1,189 千円

男女共同参画社会の実現に向け、第二次男女共同参画計画を推進するため、昨年度に引き続き男女共同参画推進市民会議を設置し、進捗状況の評価を行う。

2 むさしのヒューマン・ネットワークセンターの運営

むさしのヒューマン・ネットワークセンターを男女共同参画施策の推進の拠点として拡充するため、専門的知識を持つ人材を配置し、地域での事業活動の活性化を図る。

予算額 9,680 千円

担当：企画政策室市民協働推進課・男女共同参画担当
☎ 0422-60-1869

効率的な行政運営のために

市・指定管理者とともにマネジメント能力を向上させ、透明性が高く効果的な行政運営や市民サービスを行う。

◎ 指定管理者制度の運用の改善

予算額 11,542 千円

指定管理者の候補者選定にあたっては、市職員と外部の専門家で構成する選定委員会を設置し、その施設に最適な管理者を指定できるような仕組みを整える。また、すでに指定管理者制度を導入している公の施設について、モニタリング調査や指定管理者による自己評価などを行い、管理運営状況を定期的に市がチェックし、適正な事業の実施や市民サービス水準の向上につなげる。



▲武蔵野市民文化会館

◎ 行政評価制度の再構築

予算額 10,300 千円

各部課のマネジメント能力を向上させ、また市民への適切な情報提供を行うなど、透明性が高く成果重視の行政経営を行うために、現在行っている個別事務事業評価の見直し・改善を行い、行政評価制度の再構築を行う。

担当：企画政策室企画調整課

☎ 0422-60-1801